

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

*p*-ペンチルフェノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

### 試験番号

A 0 0 0 4 8 1 - 2 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： *p*-ペンチルフェノール
- 2) 暴露方式： 止水式，水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度（設定値）：  
対照区，助剤対照区，0. 200，0. 420，0. 890，1. 90，4. 00 mg/L  
公比：約 2. 1  
助剤濃度一定：40 mg/L（HCO-40 および ジメチルホルムアミド 使用）
- 6) 試験液量： 100 mL／容器
- 7) 連数： 4 容器／試験区
- 8) 供試生物数： 20頭／試験区（5頭／容器）
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 分析法： 高速液体クロマトグラフィー（HPLC）

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が全て±20%以内であったため、結果の算出には設定値を用いた。

### 2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.30 mg/L (95%信頼区間 : 0.890~1.90 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 0.200 mg/L

100%阻害最低濃度 : 1.90 mg/L

### 3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 0.899 mg/L (95%信頼区間 : 0.732~1.11 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 0.200 mg/L

100%阻害最低濃度 : 1.90 mg/L